



オールテレイン
「E 220 d 4MATIC All-Terrain」を発売

- ・ SUVの譲りの車高とステーションワゴンの実用性を併せ持つクロスオーバーモデル
- ・ Eクラス唯一の四輪駆動クリーンディーゼルモデル
- ・ 専用の「All-Terrain」モードによる高い悪路走破性

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都品川区)は、「E 220 d 4MATIC オールテレイン」を発表し、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて、本日より発売します。

メルセデス・ベンツ E 220 d 4MATIC オールテレインは、SUV譲りの高いアイポイントとロードクリアランス、ステーションワゴンの実用性を兼ね備えたメルセデス・ベンツ初のクロスオーバーモデルです。Eクラスの4番目のボディタイプとなり、可変トルク配分型四輪駆動システム「4MATIC」など、35年以上にわたるSUV開発の歴史の中で蓄積したオフロード技術を採用し、オールラウンドな走行性能を備えています。また、Eクラス唯一の四輪駆動クリーンディーゼルモデルです。

さらに、Eクラスセダンやステーションワゴンと同様の安全性と快適性を実現し、特に混雑時や高速道路での渋滞の際に自動運転によりドライバーにかかる負担を大きく軽減する「ドライブパイロット」をはじめとした安全運転支援システム「インテリジェントドライブ」などの革新技術を取り入れています。

E 220 d 4MATIC オールテレインは、メルセデス・ベンツの最新デザインを取り入れたエクステリアに、メルセデスのSUVモデルに共通する2本のフィンをあしらったラジエーターグリルをはじめ、前後バンパー下部のシルバークロームアンダーライドガードやブラックのホイールアーチカバーを取り入れることでSUVらしさを強調しています。また、オールテレイン専用の19インチ10スポークアルミホイールを採用しています。なお、Cd値0.33という優れた空力性能を実現しています。

ボディサイズを全長4,950mm、全幅1,860mm、全高1,495mm、最低地上高140mmと、ステーションワゴンに比べ全長-10mm、全幅+10mm、全高+30mm、最低地上高+25mmとすることで高い地上高とアイポイント、乗降のしやすさというSUVの特長を持たせながら、ボディサイズを一般的な駐車場に入るサイズにおさめています。

インテリアは、質感の高い素材と丁寧な作り込みにより、乗員が快適に過ごすことができる上質な室内空間を備えています。また、2つの高精細 12.3 インチワイドディスプレイを設定して、この2つのディスプレイを一枚のガラスカバーで融合したコックピットディスプレイは、空中に浮かんでいるように見え、インテリアデザインの水平方向の流れを強調する中心要素となっています。インストゥルメントクラスターとなるこのコックピットディスプレイは、

ドライバーの視野に直接入るべきさまざまな情報を表示する大型ディスプレイと、センターコンソール上方にセンターディスプレイを備えています。なお、コックピットディスプレイのデザインは、「クラシック」、「スポーツ」、「プログレッシブ」の3種類の中から好みで設定することができます。

さらに、タッチコントロール機能をステアリングに備えました。スマートフォンなどと同様にタッチセンサー機能を内蔵したボタンは、縦方向および横方向のスイープに正確に反応します。メニュー項目の選択はスイープ、確定はそのままボタンを押し込むだけで、これにより、ドライバーはインフォテイメントの各機能の操作やシフトレバーなどアクセルとブレーキ以外のほとんどの操作をステアリングから手を離すことなく簡単かつ機能的に操作することができます。

内装には本革を使用し、「ブラック」「ナッツブラウン」「マキアートベージュ」の3色からお選びいただけます。また、インテリアトリムにはオールテレイン専用の「ブラッシュドアルミニウム」を採用しています。

パワートレインには、2.0リッター直列4気筒BlueTECエンジンを採用しています。このエンジンは、将来導入されるRDE(実路走行試験)規制に対応したディーゼルエンジンです。排気量は2.0リッターで、最高出力143kW(195PS)、最大トルク400N・m(40.8kgf・m)を発生します。また、排出ガス浄化システムについては、Eクラスより前のモデルは酸化触媒を通過した後に粒子状物質除去フィルター(DPF)、さらに排気システムの途中に設置されたSCR触媒コンバーターを通過させていたシステムを、DPFとSCR触媒コンバーターを統合したsDPF(DPF with SCR Coating : 選択触媒還元法コーティング付粒子状物質除去フィルター)を直接エンジン本体に取り付けることで、排出ガス浄化経路を短縮することが可能となり、排出ガスの温度低下による浄化効率の悪化を防ぐだけでなく、システムのコンパクト化と軽量化にも貢献しています。このエンジンは、高効率シングルステージターボチャージャーと可変タービンジオメトリを採用し、シリンダーヘッドとクランクケースはアルミニウム合金製、ピストンをスチール製としてコンロッド軸間長を延長、また、クランクアッセンブリとシリンダーとのオフセット化やシリンダー壁への表面コーティングNANOSLIDE[®]を導入することで、シリンダー表面とピストンの間の摩擦を低減して効率化に成功しています。そして、9速オートマティクトランスミッション「9G-TRONIC」を組み合わせることで高出力かつ高効率を実現しています。

サスペンションには、マルチチャンバーエアサスペンション AIR BODY CONTROL を採用しています。AIR BODY CONTROL は車速や走行条件に応じて、ダンピング特性や車高を自動的に調整する電子制御式エアサスペンションです。路面状況、運転状況、乗車人数や積載状況に応じて、減衰力を常に最適に保ちます。また、荒れた路面などではスイッチ操作で車高を0mmから35mmまでの範囲で3段階まで選択することが可能です。

スイッチ操作1つでエンジンやトランスミッションの特性を切り替えるDYNAMIC SELECTの中に専用の「All-Terrainモード」を加えています。「All-Terrainモード」では、トランスミッションがオフロードモードに切り替わり、AIR BODY CONTROLが35km/h以下の速度で車高を20mm高くすることで、雪道や悪路での走破性を高めます。さらに、COMANDディスプレイに「ステアリング角度」「車高」「前後および左右の車体の傾き」「ブレーキとアクセルの状態」「コンパス」を表示する専用画面を表示します。

E 220 d 4MATIC オールテレインは、テレマティクスサービス「Mercedes me connect」を標準装備しています。自動車が通信することによりお客様の利便性を向上する先進的なテレマティクスサービス「Mercedes me connect」は、「24時間緊急通報サービス」などを最長10年間無償でご提供する「安心安全サービス」、「リモート車両操作」などを3年間無償でご提供する「快適サービス」の2つのサービスカテゴリーから構成されます。

「安心安全サービス」

- **24時間緊急通報サービス**: 事故検知時(エアバッグ、シートベルトテンショナー展開時)または車内にあるSOSボタン押下時に、コールセンターが消防に連絡します。
- **24時間故障通報サービス**: ツーリングサポートが必要な際に、Bコールボタンを押下するとツーリングサポートセンターにつながります。

「快適サービス」

- **リモートドアロック&アンロック**: スマートフォンの操作で車両ドアのロック、アンロックができます。
- **リモート(車両)ステータス確認**: 車両の走行距離、燃料計、平均燃費等の状態をアプリ等で確認できます。
- **MB Apps**: 天気情報やインターネットラジオをMB Appsで表示、使用できます。
- **駐車位置検索**: 駐車した車両の位置をアプリの地図上に表示します。
- **Send2Car**: スマートフォンから、ナビゲーションの目的地を遠隔設定できます。

レーダーセンサーやステレオマルチパーパスカメラ、超音波センサーにより自車の周囲を常に監視する複合的なセンサーシステムで、先行車両、横切る車両、後方車両、対向車、歩行者などを検出、状況を判断してアクセル、ブレーキ、ステアリングを自動でアシストすることでドライバーの負担を軽減し、安全性と快適性を高める安全運転支援システム「レーダーセーフティパッケージ」に代表される「インテリジェントドライブ」を標準装備しています。緊急時のステアリング操作をアシストする「緊急回避補助システム」、側面衝突の安全性を高める「PRE-SAFE[®]インパルス」、衝突時の衝撃音から乗員の耳を保護する「PRE-SAFE[®]サウンド」などの新機能を採用したほか、ステアリングアシスト機能を強化した「ドライブパイロット」の数々の機能、歩行者に加えて交差点での車両飛び出しにも対応した「アクティブブレーキアシスト」も備わり、全方位の安全性を高い次元で実現しています。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

Page 4

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー予定小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格
E 220 d 4MATIC オールテレイン	右	2.0L、L4 直噴 ディーゼルトターボ	¥8,610,000 (¥7,972,223)

*1:上記のメーカー予定小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。

なお、「E 220 d 4MATIC オールテレイン」には、新車購入から3年間走行距離無制限の一般保証・メンテナンスサービスと24時間ツーリングサポートを無償提供する総合保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。さらに、メルセデス・ケア終了後、有償の保証延長プログラムとして、一般保証および24時間ツーリングサポートを2年間延長する「保証プラス」と、4、5年目のメンテナンスサービスにおいて、初回車検時および4年目の点検や定期交換部品、消耗品の交換をパッケージでご提供する「メンテナンス プラス^{*2}」をご用意しています。

*2: 新車登録日から59ヶ月後の応当日の前日、または総走行距離75,000km到達時のいずれか早い時点で終了となります。



E 220 d 4MATIC オールテレイン

圧倒的な積載性の大容量ラゲッジスペース

ラゲッジスペースは、リアサスペンションの取付位置をステーションワゴン専用とすることでフラットな荷室空間を実現しています。後席には 40:20:40 の分割可倒方式を採用し、乗員と積載物に応じて様々にアレンジすることができます。後席バックレストは、ラゲッジルーム左右または後席左右のスイッチで簡単に倒すことができます。すべて倒すことで最大 1,820 リッター (VDA 方式) の余裕あるスペースが出現します。

標準装備の EASY-PACK 自動開閉テールゲートにより、運転席やエレクトロニックキーのスイッチで自動的に開閉できるほか、テールゲート部のスイッチでも自動的に閉めることができます。また、スイッチ操作でテールゲートを自由な角度で止めることが可能です。さらに、両手がふさがっている時でも、リアバンパーの下側に足を近づけることでセンサーが感知して、手を使わずにテールゲートを開閉することができるフットランクオープナー (テールゲート自動開閉機能) も備えます。

2.0 リッター直列 4 気筒 BlueTEC エンジン

このエンジンは、将来導入される RDE (実路走行試験) 規制に対応したディーゼルエンジンです。先代よりシリンダーピッチを縮小 (94mm→90mm) することに成功して、エンジン全長の小型化を実現しました。排気量は 2.0 リッターと先代の 2.2 リッターより小さいものの、最高出力 143kW (195PS)、最大トルク 400N・m (40.8kgf・m) を発生します。また、排出ガス浄化システムについては、従来は酸化触媒を通過した後に粒子状物質除去フィルター (DPF)、さらに排気システムの途中に設置された SCR 触媒コンバーターを通過させていたシステムを、DPF と SCR 触媒コンバーターを統合した sDPF (DPF with SCR Coating : 選択触媒還元法コーティング付粒子状物質除去フィルター) を直接エンジン本体に取り付けることで、排出ガス浄化経路を短縮することが可能となり、排出ガスの温度低下による浄化効率の悪化を防ぐだけでなく、システムのコンパクト化と軽量化にも貢献しています。このエンジンは、高効率シングルステージターボチャージャーと可変タービンジオメトリを採用し、シリンダーヘッドとクランクケースはアルミニウム合金製、ピストンをスチール製としてコンロッド軸間長を延長、また、クランクアッセンブリとシリンダーとのオフセット化やシリンダー壁への表面コーティング NANOSLIDE®を導入することで、シリンダー表面とピストンとの間の摩擦を低減して効率化に成功しています。

「インテリジェントドライブ」

ディスタンスパイロット・ディストロニック & ステアリングパイロット

ディスタンスパイロット・ディストロニックは、都市、郊外、高速道路などの走行時にステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーにより、先行車を認識して、速度に応じて車間距離を調節します。減速が必要な場合、アクセル及びブレーキを段階的に自動調整してスムーズに減速し、先行車が停止した場合は自車も停止します。高速道路での渋滞時に自動停止した際、30 秒以内に先行車が発進した場合は、ドライバーがアクセルを踏まなくても自動で再発進します (一般道では 3 秒以内)。30 秒以上停止していた場合は、アクセルを軽く踏むかクルーズコントロールレバーを引くことで再発進が可能です。十分な車間距離が確保されている場合は設定された速度まで自動的に加速します。先行車および停止中の車両との距離が突然縮まった場合には、警告灯と警告音でドライバーに知らせます。またステアリングパイロットは、車線のカーブと先行車を、車線が不明瞭な道ではガードレールなどを認識し、車間を維持しながらステアリング操作をアシストします。

アクティブレーンチェンジングアシスト

高速道路走行中にステアリングパイロットが起動している際に、ドライバーがウインカーを点滅させると、車両周囲を監視しているセンサーが他の車両などとの衝突の危険が無いことを確認し、安全が確認された場合に**自動で車線を変更**します。

*5: 作動速度範囲:約 80km/h~180km/h (一般道での利用不可)

アクティブエマージェンシーストップアシスト

ステアリングパイロットが起動している状態で、ドライバーが一定時間ステアリング操作を行わない場合、ディスプレイ表示と警告音によってステアリングを握るよう促し、それでもドライバーがステアリング、アクセルやブレーキ、あるいはタッチコントロールボタン操作の反応が無い場合、さらに警告音を鳴らしながら、緩やかに減速してハザードランプを出して停止します。また、車両停止後は自動的にパーキングブレーキがかかることで、後方からの衝突による二次災害を防止します。

トラフィックサインアシスト

一般道や高速道路を走行中、カメラが制限速度などの標識を読み取り、ディスプレイに表示し、制限速度を超えた際には警告音を出してドライバーに注意を促す機能も搭載します。

アクティブブラインドスポットアシスト

リアバンパー左右のレーダーセンサーにより、車両の斜め後ろのミラーで見えない死角エリアに車両や自転車がいることを警告します。さらに、側面衝突の危険がある時にはブレーキを自動制御して、危険回避をサポートします。追い越し車線に移ろうとして斜め後ろにいる車両に気づかなかった時など、ドライバーの不注意によるミスを予防し、安全な走行を支援します。

*6: 作動速度範囲:約 8~200km/h

*7: 自動コース修正作動減速範囲:約 30~200km/h

アクティブブレーキアシスト(歩行者検知/飛び出し検知機能付)

先行車、前を横切る車両や合流してくる車両、歩行者、路上の物体などとの衝突の危険性を感知すると、ディスプレイ表示や音でドライバーに警告します。必要な場合はシステムが衝突を回避するために強力な制動力を発揮できるようにブレーキ圧を高めます。同時に、前席のシートベルトの巻き上げや助手席のシートポジション修正など、衝突時に乗員の最適な姿勢を可能な限り確保する PRE-SAFE[®]機能も作動します。ドライバーが反応しない場合、システムが衝突を避けられないと判断して、最大のブレーキ力で自動緊急ブレーキが作動します。衝突の回避もしくは被害軽減を効果的にサポートします。なお、交差点での車両飛び出しにも対応するようになりました。

*8: 作動速度範囲:約 7~250km/h

*9: 歩行者検知機能 作動減速範囲:約 7~70km/h

*10: 作動速度範囲は、気象条件や道路状況等により変動することがあります

ステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーで、先行車およびその左右の車線を監視します。突然渋滞の最後尾が現れた場合などに、前走車との衝突の危険を検知します。その左右などに回避スペースが無いと判断すると、即座に自動ブレーキが作動し、衝突回避または被害軽減を図ります。回避スペースがある場合は、ドライバーの回避操作を優先します。ただし、ドライバーが反応しない、または回避操作が遅れて衝突が回避できないと判断した場合には、即座に自動ブレーキが作動します。さらに、渋滞末尾で回避操作を行う空間的余裕がない危険な状況を検知して、通常よりはるかに早い段階でブレーキを自動で作動させる機能も搭載しました。

緊急回避補助システム

アクティブブレーキアシストの歩行者検知機能を補う新開発のシステムです。車両前方にいる車道横断中の歩行者などとの衝突の危険を検知すると、システムが正確なステアリングトルクを計算して、ドライバーのステアリング操作をアシストします。また、回避後の車線復帰も同様にサポートします。

*11: 作動速度範囲: 約 20~70km/h

リア CPA(被害軽減ブレーキ付後方衝突警告システム)

リアバンパーに設置されたレーダーセンサーが後方のクルマを監視して車間距離と接近速度から衝突の危険があると判断すると、ハザードランプを素早く点滅させて後続車のドライバーに警告するとともに、インジケーターによりドライバーに警告します。自車が停止中で後続車が十分に減速しない場合は、後方からの衝突に備えてブレーキ圧を高めます。これにより玉突き衝突の回避など二次被害の軽減をサポートします。さらにシートベルトテンショナーも作動させ、衝撃の影響の低減を図ります。

PRE-SAFE®インパルスサイド

フロントバンパー外側のレーダーセンサーが、側面衝突が不可避であることを検知すると、衝突側前席バックレストのサイドサポートに内蔵されたエアチャンバーが瞬時に膨張して、乗員をドアから遠ざけることで衝撃の軽減を図ります。さらに PRE-SAFE®の乗員保護機能も同時に作動します。

PRE-SAFE®サウンド

システムが不可避の衝突を検知すると、車両のスピーカーから鼓膜の振動を抑制する音を発生させ、鼓膜の振動を内耳に伝えるあぶみ骨筋の反射収縮反応を引き起こします。この収縮によって衝撃音の内耳への伝達を軽減します。

アクティブレーンキーピングアシスト

フロントウインドウのステレオマルチパーパスカメラが車線を検出し、フロントホイールが走行車線を越えたと判断するとステアリングを断続的に微振動させてドライバーに警告します。ドライバーが反応しない場合は自動補正ブレーキによって車両を車線内に戻そうとします。高速道路など走行車線が非常に広い場合は警告が早まるなど、状況に応じた判断が加えられ、警告の信頼性が向上しました。

*12: 作動速度範囲: 約 60km/h~200km/h

第二世代のマルチビーム LED ヘッドライトは、片側 84 個の LED を備えています。ステレオマルチパーパスカメラと 4 つのコントロールユニットが、理想的な配光パターンを毎秒 100 回の頻度で解析することで、きめ細かく高精度な配光を実現しました。84 個の LED は 3 段グリッド状に配置され、それぞれを個別に電子制御することで、先行車などを明るく正確に照射し続ける先進のシステムです。また、道路標識の反射が起こらないよう前方を照射、雨天時に路面からの反射を抑えドライバーに見やすい視界を提供することも可能です。さらに、対向車の眩惑防止はもちろんのこと、カーブを検知すると前もって配光パターンを制御し、カーブの先を早めに照らすことで安全性を高めます。

360° カメラシステム

フロントグリル、左右のドアミラー、リアライセンスプレート上方に 4 つの広角・高解像度カメラを備え、合成処理された周囲の状況をモニターに表示します。自車を真上から見ているような「トップビュー」など、車両周辺の状況が画面で確認できます。

パーキングパイロット(縦列・並列駐車)

約 35km/h 以下で走行中、超音波センサーが左右の最適な駐車スペースを自動で検出します。自動操舵・ブレーキ・シフトチェンジ・速度コントロール機能により、自動で駐車します。複数の駐車スペースを選択することもできます。

マルチチャンバーエアサスペンション AIR BODY CONTROL

AIR BODY CONTROL は車速や走行条件に応じて、ダンピング特性や車高を自動的に調整する電子制御式エアサスペンションです。路面状況、運転状況、乗車人数や積載状況に応じて、減衰力を常に最適に保ちます。また、荒れた路面などではスイッチ操作で車高を 0mm から 35mm までの範囲で 3 段階まで選択することが可能です。

フルタイム四輪駆動「4MATIC」

全天候型フルタイム四輪駆動システム「4MATIC」によって、様々な天候や路面状況下で最適なトラクションを発揮します。オンロードでは、コーナリング時や高速走行時の高い安定性を実現します。また、オフロードや雪道などでは、タイヤの空転や横滑りを抑制し、高い操縦性や走行安定性を確保します。軽量コンパクトな設計により燃費向上にも貢献しています。

低燃費と快適性を両立させた電子制御 9 速 A/T「9 G-TRONIC」ナインジートロニック

9 速オートマチックトランスミッション「9G-TRONIC」によって 1 つのギアが受け持つ速度域が狭くなり変速ショックとエンジン回転数を抑えることが可能となります。これによって、静粛性と低燃費を高いレベルで実現しています。

軽量・高剛性ボディ

ボディシェルは軽量高強度な超高張力鋼板を多用しながら、フロントフェンダー、ボンネット、フロントエンドなどの大部分にアルミニウム合金を積極的に採用して重量の増加を抑制しながら非常に高い強度を確保し、高度な衝突安全性はもちろん、卓越したハンドリング、極限的に低いノイズや振動レベルを実現しました。ボディ剛性や静粛性の面で、セダンに対して不利なステーションワゴンでありながら優れた設計技術によって、それらが高いレベルで実現しました。